

検出感度の優れた世界標準円錐ダイ型 加硫試験機

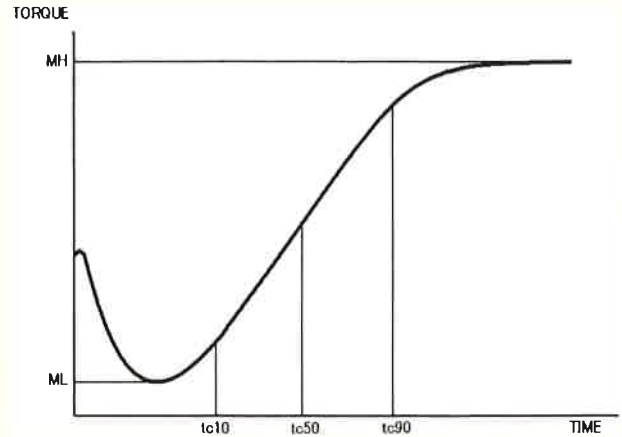
MDRH Next I



世界標準ダイ、密閉円すい型加硫試験機 MDRH 2020 の開発で培った技術を更に磨き、優れた性能価格比は勿論、長期において安定した性能を提供出来るよう、装置の保守性の向上を図りました。

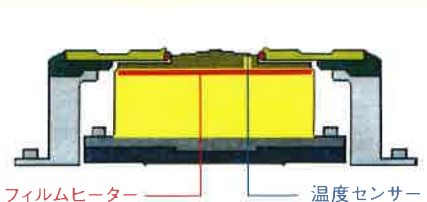
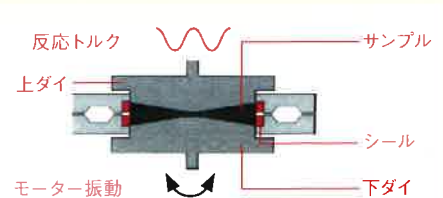
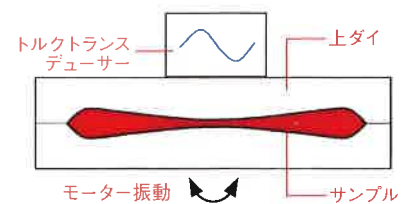
加硫試験機 MDRH Next I

機能は勿論、操作性及び保守性を重視して開発された加硫試験機です。ダイは ISO、JIS、ASTM 等の規格に準拠し、世界標準である密閉円すい型構造を採用し、高感度化を図りました。



MDRH Next I の特徴

- ・世界標準である密閉円すい型ダイの採用により変形率（変形量／サンプル厚）がサンプル全域において一定になり、せん断時のスリップを解消し、またトルク検出感度を向上させています。
- ・トルクトランスデューサを上ダイに直結することにより、モーター等の機械的結合部が取除かれ、結合部から生じるノイズ発生を解消しています。
- ・ダイ中空部は金属シール面により完全密閉されているため、試験片とOリング間の摩擦の発生がなく、低トルク領域において優れたトルク検出感度を実現させています。
- ・密閉円すいダイ型のサンプル厚は上下ダイの中心間隙で管理され試験機間のデータ統一を図っています。
- ・特殊スパイラルフィルムヒータの採用によりダイの直加熱と温度センサのダイ表面直下の設置により、サンプルとダイの温度差を解消し、優れた温度制御は勿論、高速昇温を実現し、省電力型になりました。
- ・ダイの取出し、取付を容易にし、また上下ダイに互換性を持たせ保守性の向上を図りました。



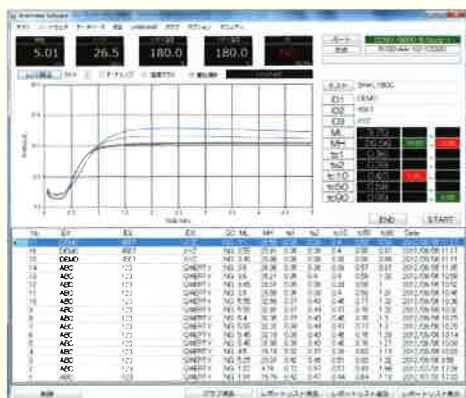
- ・動的キャリブレーション（ねじりバネ）方式によるトルク校正の採用により、測定と同条件で校正ができます。また校正操作も非常に簡単です。

- ・校正操作は PC 校正画面で実施し自動校正されます。



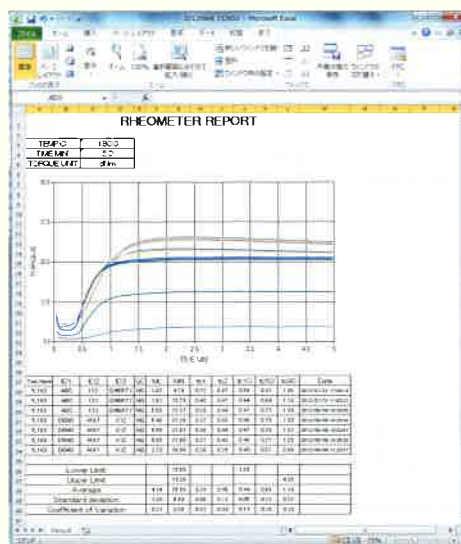
ソフトウェア機能

- ・コンパウンドを選択しますと、試験温度と時間が試験機に自動的に設定され、また蓄積データが表示されます。
- ・品質管理のための上下限値を設定しますと、試験終了後に OK/NG 判定表示をします。
- ・試験機の PC をネットワークに接続すれば、ネットワーク内の PC から試験データを閲覧することができます。
- ・日本語と英語の表示切替えができます。



レポート

- ・レポートは Excel ファイルで出力されるため、ユーザーカスタマイズが可能です。
- ・PDF ファイルも同時に作成することができます。



メンテナンス

- ・国内メーカー製産業用コントローラーをはじめ、各種使用部品も国内外で入手可能な汎用品を使用し、ユーザー様自身でも対応可能になる様メンテナンス性の向上を目指しました。
- ・遠隔地等で緊急対応が困難な場合、ほとんどの制御部品が収納された制御ボックスを取り出し、弊社サービス拠点にお送りいただければ即対応が可能です。



仕 様

準 拠 規 格	ISO 6502、JIS K 6300、ASTM D 5289
品 名	ねじり振動式密閉形円すいダイ加硫試験機
型 式	MDRH Next I
振 動 数	100 CPM
振 幅 角	± 0.5°または ± 1°
温 度 範 囲	50 - 200 °C
温 度 精 度	± 0.3 °C
トルク範囲	200 dNM
試験片分量	3 - 5 cm ³
電 源	単相 100V 50/60Hz 6A、(単相 200V モデルもあり)
空 気 圧	0.4 Mpa
寸 法 (WDH)	56 cm × 58 cm × 110 cm
重 量	150 kg
P C	Windows 7 32bit、Excel 2010
表 示 言 語	日本語／英語切替え可能
レポ-ト形式	Excel ファイル、PDF



外観及び仕様は改良のため、予告なく変更することがありますので御了承ください。

合資会社 テックプロジャパン

〒197-0024

東京都福生市牛浜 92-6 TRK ビル

TEL : 042-553-0576

FAX : 042-553-0536

URL : <http://www.techpro-jp.com>

MAIL : info@techpro-jp.com